



心のスイッチ

校長 山村 恵子

春は、人と人との出会いの季節です。生徒の皆さんは、新しい友達との出会い、新しい先生との出会いなど、大きな期待と少しの不安を持って4月6日の始業式、7日の入学式を迎えたことでしょう。この新鮮な気持ちを大切に、お互いの「はじめの一步」を大事にしてほしいと思います。

新年度のスタートにあたって、教育者であり僧侶でもあった東井義雄先生の「心のスイッチ」という題の詩を紹介します。

心のスイッチ

東井義雄

人間の目は ふしぎな 目
 見ようという心がなかったら 見ている 見えない
 人間の耳はふしぎな耳
 聞こうという心がなかったら 聞いている 聞こえない
 頭も そうだ
 はじめから よい頭 わるい頭の 区別が あるのではない
 ようだ

「よし、やるぞ!」と
 心のスイッチが入ると
 頭も 素晴らしいはたらきをしはじめる
 心のスイッチが 人間を つまらなくもし すばらしくも
 していく
 電灯のスイッチが 家の中を明るくし 暗くもするように



心のスイッチは誰もが持っていますが、スイッチをONにするのは自分です。心のスイッチが入らないことを人のせいにはしてはいけません。自分が自分を創っていく責任者なので、スイッチを入れなくては、みなさんのもつすばらしい可能性も単なる可能性で終わってしまいます。大切なことは、可能性の実現に向けて具体的な動きを取ることです。その行動をする決断をし、実行に移すこと、すなわち心のスイッチをONにするのは、他の誰でもなく、みなさん自身です。

さあ、皆さん一人一人がもつ「心のスイッチ」をオンにして、ぜひ今まで以上に皆さんの笑顔があふれ、様々なことに臆せず挑戦する一年にしていきましょう!

●令和8年度●

【深沢中学校が目指す学校像】

「生徒が主役」の学校

未来を拓き夢を育む学校

○重点目標1 探究的な学びを各教科で取り入れ、主体的に学ぶ態度を育てる

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。
- (2) ICT機器を効果的に活用した教育活動を展開し、発問の工夫や探究のプロセスを重視した「せたがや探究的な学び」を積極的に進める。
- (3) 言語活動を基盤とした「自分の考えを発信する学び」を積極的に取り入れる。

○重点目標2 多様な個性を尊重し、認め合う心を育てる

- (1) 日々の学校生活や行事、構成的グループエンカウンターなどの人間関係づくりのトレーニングを通して、生徒の自尊感情や認め合う心、よりよい人間関係をつくり上げる力を育てる。
- (2) いじめ防止、障害者やLGBTQに対する差別意識を解消する学習、道徳の授業や人権教育を通して、生徒自身が多様性や命の大切さを理解し、尊重する豊かな心を育む。
- (3) すべての子どもたちが自分らしく学ぶことができるインクルーシブ教育を推進する。

○重点目標3 社会力(これからの社会を生き抜く力)を育む

- (1) 生徒の意欲を大切に、学級活動や生徒会活動、学校行事、総合的な学習の時間、部活動などを意図的、計画的に行うことで、生徒の自治意識を高める教育を推進する。
- (2) 時間を守る、あいさつをする、思いやりのある行動をするなど、基本的な生活習慣の定着と規範意識の醸成を図る。
- (3) 3年間を見通したキャリア学習を積極的に進める。「なぜ学ぶのか」「なぜ働くのか」「どんな大人になりたいのか」を3年間かけて探究するキャリア学習を展開する。
- (4) 外部の人材・物的資源を計画的かつ積極的に取り入れ、社会とのつながりを深める。
- (5) 心と体の健康づくり・地域と連携した活動を推進する。

入学式 誓いの言葉

新入生代表

暖かく、やわらかい日差しにつつまれ、草木が芽吹き始めました。日ごとに春の訪れを感じさせる良き日に深沢中学校に入学することができることを心から嬉しく思います。

「春はあけぼの」・・・これは平安時代に生きた清少納言が書いた「枕草子」の冒頭です。私はこの一節は知っていても続きは知りません。古文の授業でその続きを学べるのが楽しみです。その他にも様々な教科を学んでどんどん視野を広げ、豊かな人間になれるように努力したいです。

小学校では運動会や音楽会などを通して、みんなで協力することの大切さを学びました。中学校でもお互いを尊重し合える関係を築いていきたいです。また、中学校に入ると、部活動が始まります。わからないところは先輩方や先生方に教えていただき、先輩を目標として成長していきたいと思えます。

新しい環境で不安に思うこともたくさんありますが、中学校生活を不安から楽しさに変えていきたいです。

これから深沢中学校で過ごす日々が始まります。共に学ぶ一年生の仲間たちとともに、協力し合い、助け合い、更なる成長ができるよう、日々を大切に過ごしていきたいです。

最後に、本日このような素晴らしい入学式を開いてくださった先生方や地域の皆様に心より感謝申し上げます。

入学式 歓迎の言葉

在校生代表

暖かな春の日差しに囲まれ、新入生の皆さんは、新しい制服に身を包み、期待と不安を胸に、この日を迎えたことと思います。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。在校生を代表して皆さんを心から歓迎いたします。

ここで一つ皆さんにお伝えしたい事があります。中学校は「失敗してもいい場所」だということです。私たちも入学した当初は、皆さんと同じ様に、期待と不安を抱えていました。新たな出会いや経験への期待がある一方で、周りに馴染めるだろうか、授業についていけるだろうか、ここで自分の居場所を見つけられるだろうか、不安を感じることもありましたが、しかし、その一つ一つの経験が確かに今の自分へと繋がっています。うまくいかなかった経験も、誰かとぶつかった時間も、振り返れば、全て掛け替えのない時間でした。だからこそ、皆さんに伝えたいのです。失敗を恐れず、自分のペースで、一歩ずつ前に進んでください。

これから出会う仲間との時間も、きっと皆さんにとって特別なものになります。一人ではできない事も、仲間となら乗り越えられる、そんな瞬間が必ず訪れます。中学校生活は、小学校までとは異なり、自ら考え、選び行動することが、これまで以上に求められる場です。体育祭や合唱コンクール等の行事では仲間と意見を交わし、時にぶつかり合いながらも、一つの目標に向かって歩んでいきます。その過程で得られる経験は、結果以上に大きな意味をもつはずです。

また、部活動も本校の大きな特色の一つです。7つの運動部と5つの文化部があり、それぞれが目標に向かって日々努力を重ねています。順調な時ばかりではなく、思い通りにいかない場面もあるからこそ、仲間と支え合うことの大切さや、継続することの意味に気づくことができます。

学習においても同様に、日々の積み重ねが何より重要です。中学校では年に4回の定期考査があります。日頃の取り組みがそのまま結果として表れます。直ぐに成果が見えるものではありませんが、自ら考え、向き合い続けることで、確かな力へと変わっていきます。

3年後。今日ここにいる皆さんは、今とは全く違う表情で、この場所にいることでしょう。自分に自信を持ち、誰かを思いやることができる人へと成長しているはずで。そして、その歩みの中で、これまで当たり前のようにそばで支えてくれたご家族の存在の大きさに気づく瞬間がきっと訪れます。その思いを今日という節目の日に、ぜひ言葉にしてご家族に伝えていただけたらと思います。

今日から始まる毎日が皆さん一人一人にとって輝かしくかけがえのないものとなることを、心から願ひまして、歓迎のことばといたします。

新入生歓迎会挨拶

新入生代表

本日は、私たちのために新入生歓迎会を開いてくださりありがとうございました。私は深沢中学校で新しい出会いがあることを楽しみにしています。同じ小学校だけでなく、他の小学校から入学した人たちもいるので、同じ学年の仲間たちと新たな関係をつくるチャンスにできると嬉しいです。また小学校ではなかった新たな学びや教科、先生方との授業も楽しみです。

部活動も始まります。どのような活動なのか、今日の動画を見てさらに期待が高まりました。仮入部期間が始まりますが、いろいろな部活動を試してみたいと思います。私たち1年生はわからないことも多いですが、先輩方よろしくお願ひします。

今日はお忙しい中、私たちのために紹介準備や動画制作をしてくださりありがとうございました。これからの学校生活では、楽しく、多くの人たちの期待に応えられるような1年生になれるように、学年で協力し合いながら頑張っていきたいです。